

# カリキュラム

機構施設名：静岡職業能力開発促進センター

実施機関名：一般社団法人careerCs

26-22-12-094-048

A. バックオフィス

新技術活用

094AI(人工知能)活用

コースのねらい

AI(人工知能)の概要とビジネスの現場におけるAIの具体的な活用場面等について理解し、AI活用に係る知識を習得する。

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)	日程	
				月日	時刻
講義内容	1 ■ AI(人工知能)の概要	(1)AI(人工知能)とは ・AI(人工知能とは(定義、歴史、特徴) ・AIの例(顔認証、異常検知、医療診断、生成AI、自動運転) ・AIの得意なこと(大量画像、音声、大量データ分析) ・グループ演習(身の周りのAIを探す)	0.5	令和8年 7月23日(木)	9:30~16:30 昼休憩 12:00~13:00
		(2)機械学習 ・機械学習とは(自律学習、大量データ、分類/ルール化) ・学習の種類(教師あり学習、教師なし学習、強化学習) ・ニューラルネットワークとの違い(説明がつく世界とつかない世界) ・機械学習の例(スパム検知、クレジットの不正検知、異常データ検知) ・グループ演習(機械学習の実例を探す)	0.5		
		(3)ニューラルネットワーク ・ニューラルネットワークとは(脳の仕組み、コンピューターへの写像) ・ニューラルネットワークの仕組み(脳の模倣、特徴の記憶) ・ニューラルネットワークの例(文字認証、顔認証) ・グループ演習(ニューラルネットワークの実例を探す)	0.5		
		(4)ディープラーニング ・ディープラーニングとは(ニューラルネットワークの多層化、複雑化) ・ディープラーニングの仕組み(多層化) ・ディープラーニングの例(自動運転、画像診断、AI囲碁、生成AI) ・演習(ディープラーニング体験(Google Teachable Machine))	1.0		
	2 ■ AIの活用事例と今後の展望	(1)AIの具体的な活用事例紹介 ・事務・管理社内外務け文書作成(議事録、稟議書、開催案内など) ・製造・現場:製品の外観検査、設備の故障予測、作業マニュアル) ・営業・企画:需要予測、提案書作成、商品アイデアなど) ・演習(生成AIで文章作成・要約・添削、アイデア出し、データ分析など)	2.5		
		(2)AI導入の課題 ・データの壁:データ不足、データの質、ハルシネーション ・情報漏洩と権利の壁:機密情報の漏洩、著作権侵害 ・心の壁:人とAIの境界、心理的障壁 ・グループ演習(優先的に取り組みたい課題)	0.5		
		(3)AIの今後の展望 ・特化型AI(業務別、業界別、企業別) ・国内外の規制動向(欧州AI法、AI新法、AI事業ガイドラインなど) ・今後の展望(AIエージェント、フィジカルAI、リスキリング) ・グループ演習(AIとの向き合い方)	0.5		
		合計時間	6時間		

## カリキュラム作成のポイント

AIの基礎的な知識から始まり、様々なレベルのAI、そして現在利用範囲が急拡大している生成AIまで広くAIを網羅した内容となっています。実務につながるよう、生成AIを主に、業務を想定した実際に使ってみる演習を多く取り入れています。AI活用にあたってしっかり理解しておくべきハルシネーション、情報漏洩、著作権問題もグループ演習で理解を深めることにしています。以上の取り組みで、実際の業務の生産性向上や業務改革に役立つスキルを獲得できる内容となっています。